

2 0 2 5 年度業務実績報告書

提出日

2026 年 1 月 15 日

1. 職名・氏名 准教授・梅津千香子

2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、
授与機関 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科、授与年 平成 31 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 地域・在宅看護学（2 年次 2 単位）、地域・在宅看護学演習（3 年次 1 単位）、地域・在宅看護学 実習（3 年次 2 単位）、家族看護発展セミナー（4 年次 1 単位）、卒業研究（4 年次 3 単位）、緩 和ケア論（2 年次第 14 回講義担当）、地域包括ケア演習（D1 前期後期 2 単位分担）、看護理論 （M1 前期 2 単位分担）
② 内容・ねらい 保健・医療・福祉に関連する機関および多職種と連携しながら、質の高い在宅療養の実現に向 けて、在宅療養者とその家族の生活を地域で支える看護専門職者の役割を教授する。高齢社会 への対応を考慮し、介護保険制度を含む在宅療養支援の仕組みと医療依存度の高い療養者、終 末期療養者への支援につながる看護を学び、在宅療養生活の継続とその質を保障するための課 題を捉える。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生自身が主体的に考える力を養うことを目的として、予習や復習等の授業外学習課題を設定 した。授業外学習の内容を授業内で確認し、学生の習熟度に合わせて積極的に質問を受け、学 生個々が自律して学習課題に取り組み、学ぶ力を高めることができるよう心掛けた。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり） Manuscript Number: GN-D-24-02236R1 Home-visit nursing service use by older adults in Japan using insurance claims data. Geriatric Nursing, 2026 Jan:67:103711. doi: 10.1016/j.gerinurse.2025.103711. Epub 2025 Nov 20. Tomomi Sakano, Kayo Hirooka, Yusuke Kanno, Sakiko Itoh, Mieko Sagawa, Shiori Nitta, Junko Fujita, <u>Chikako Umezu</u> , Sakiko Fukui.	
	【1 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等（ポスター発表） 介護保険 3 施設における自立支援のためのケアマネジメント手法及びサービス提供方法、評価方法の実態、岩原由香, 福井小紀子, <u>梅津千香子</u> . 第 45 回日本看護科学学会学術集会、2025 年 12 月 6 日	
	【1 件】
⑤その他の公表実績 介護保険 3 施設における自立支援のためのケアマネジメント手法及びサービス提供方法、評価方法の実態、岩原由香, 福井小紀子, <u>梅津千香子</u> . 第 45 回日本看護科学学会学術集会電子抄録集	【1 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
・ 2024 年度～継続 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

・福井県訪問看護推進協議会委員、2022 年～ ・福井県看護協会主催 実習指導者講習会における講義（担当科目：地域・在宅看護実習の実際）2025 年 7 月 30 日 ・福井県看護協会主催 実習指導案作成グループ指導（担当科目：地域・在宅看護実習）2025 年 8 月 6 日、8 月 18 日、8 月 21 日、8 月 26 日、8 月 29 日 ・福井県看護協会主催 看護研究グループ指導 福井県内訪問看護ステーション（仮テーマ：在宅看護論実習において看護学生が実習指導者に望んでいること）2025 年 6 月 5 日～

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・看護学科実習検討委員会（看護学科内 2019 年 4 月～） ・職場委員会（看護福祉学部内 2025 年 4 月～）
(3)学内行事への参加
・大学共通試験監督説明会、2025 年 12 月 17 日 1 限
(4)その他、自発的活動など
・東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座、医療・介護従事者のための死生学 2025 年度セミナー、2025 年 9 月 28 日オンライン参加